

| 教科・科目                        |   | 社会科・高2・日本史探究  | 基本情報   |   |  |               |
|------------------------------|---|---|--|---|--|---------------|
| 担当者                          |   | 西田 幸乃   | ・授業で使用するもの<br>□授業プリント（各自無くないようにファイリングすること）<br>□教材：教科書（山川出版社『詳説日本史』、帝國書院『図説 日本史通覧』、山川出版社『詳説日本史史料集』）   |   |  |               |
| 評価割合（試験：試験外）                 |   | 試験：6 試験外：4  | □定期テスト①～⑤は100点満点<br>□試験外評価については、授業で行うアクティビティほか、提出物等で評価する。  |   |  |               |
| 年間を通じて教科で培う力                 |   |   | 知識及び技能   | 歴史的事象・用語・制度を正確に理解し、時代ごとの特徴や文化の違い、社会構造の変化を的確に把握する力を養う。あわせて、史料や図表、年表などの情報を読み取り、活用する技能を高める。                              |  |               |
|                              |   |   | 思考力・判断力・表現力  | 歴史的な出来事や背景や因果関係を考察し、複数の視点から時代や社会を比較・分析する力を育てる。問いを立てて調べ、自分なりの根拠をもって説明し、他者に伝える力を高める。                                    |  |               |
|                              |   |   | 学びに向かう力・人間性  | 過去の人々の生き方や社会の営みに目を向け、現代とのつながりを意識しながら主体的に学ぶ態度を育てる。多様な価値観や文化に対する理解を深め、他者や社会に対して共感や責任ある行動がとれるよう、自らの在り方や社会との関係を見つめ直す力を養う。 |  |               |
|                              |   |   | 学習情報   |   |  |               |
| 月                            | 日   | 単元（学習）目標  | 単元目的（到達状態）   | 学習内容  | 活動内容   | 評価方法・ポイント     |
| 4                            | 7   | 第1章 日本文化のあけぼの<br>第2章 古墳とヤマト政権   | ●原始・古代の文化の移り変わりを追って、それぞれの時代が持つ社会や暮らしの「特徴」、およびその変化を学ぶ意味を理解し、自ら説明できるようになることを目的とする。<br>問いの例：「縄文文化 → 弥生文化」この変化は「農耕の開始」によって特徴づけられるが、農耕の導入がなぜ人々の間に争いや戦乱をもたらすようになったのか、その社会的背景と因果関係を説明せよ。  | 1-1文化のはじまり<br>1-2農耕社会の成立<br>1-3古墳文化の展開  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・考えを深める問い          | ・小課題<br>・小テスト |
|                              |   | 第2章 古墳とヤマト政権<br>第3章 律令国家の形成   | ●古代日本における「国家」の形成と展開の過程を通して、各時代の政治・制度・文化の「特徴」と、それを学ぶ意味を理解し、自ら説明できるようになることを目的とする。<br>問いの例：「豪族連合政権 → 律令国家 → 中央集権の象徴としての成立」この一連の変化は、「天皇を中心とした統一国家の形成」と「律令制度による支配の体系化」によって特徴づけられるが、なぜ人々は「国家による統一と管理」を目指すようになったのか、その歴史的背景を説明せよ。  | 2-2飛鳥の朝廷<br>3-1律令国家への道<br>3-2平城京の時代   | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・考えを深める問い          | ・小課題<br>・小テスト |
| 6                            |   | 定期試験① 令和7年 6月2日～6月4日  |  |   |  |               |
| 14                           |   | 第3章 律令国家の形成<br>第4章 貴族政治の展開  | ●律令国家の文化的成熟と制度の定着、そして摂関政治の確立という一連の流れを通じて、律令制度の特徴と限界、貴族による支配の特徴とその背景を比較・理解し、自ら説明できるようになることを目的とする。<br>問いの例：「律令国家の理想 → 現実との乖離 → 貴族による支配への転換」この変化は、「律令制度が社会の実態に合わなくなったこと」と、「貴族階級が政治・文化の主導権を握るようになったこと」によって特徴づけられるが、なぜ制度に整えられた律令国家が揺らぎ、なぜ藤原氏による摂関政治が新たな支配のかたちとして現れたのか、その背景と支配構造の特徴を比較しながら説明せよ。                                    | 3-3律令国家の文化<br>3-4律令国家の定着<br>4-1摂関政治   | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・考えを深める問い<br>・小テスト | ・小課題<br>・小テスト |
|                              |   | 7   |  | 定期試験② 令和7年 7月9日～7月11日   |  |               |
| 9                            | 第4章 貴族政治の展開   | ●国風文化の成立、地方における武士の台頭、そして院政の始まりという時代の動きを通して、貴族文化の特徴と政治の変化、さらに地方社会の新たな勢力の登場という三層の構造を比較・理解し、それぞれの特徴と内容を説明できるようになることを目的とする。<br>問いの例：「貴族による文化の成熟 → 中央政治の揺らぎ → 地方からの武士の登場」この一連の変化は、「文化的な洗練と政治の構造化」、そして「地方社会の自立と新たな秩序形成」によって特徴づけられるが、なぜ国風文化が花開いた貴族社会の中で、中央の政治権力が複雑化し、地方では武士が社会の担い手として登場するようになったのか、それぞれの特徴を比較しながら、社会全体の構造変化として説明せよ。 | 4-2国風文化<br>5-1院政の始まり<br>6-3地方政治の展開と武士  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・考えを深める問い<br>・小テスト  | ・小課題<br>・小テスト                                    |               |
|                              |   | 第5章 院政と武士の躍進<br>第6章 武家政権の成立   | ●院政期の政治構造と平氏の政権、そして鎌倉幕府の成立と武士の社会の形成という流れを通して、貴族社会から武士社会への移行が、どのような背景と仕組みによって生じたのかを理解し、それぞれの支配の特徴を比較しながら説明できるようになることを目的とする。<br>問いの例：「院政による二重権力構造 → 平氏政権の登場 → 鎌倉幕府による武士の本格的支配」この一連の変化は、「貴族的権力の限界」と「武士による新たな秩序の構築」によって特徴づけられるが、なぜ武士の階級は武士による最初の政治でありながら、鎌倉幕府とは異なる性格を持ち、そして鎌倉幕府が「武士のための政権」として確立されたのか、支配の構造と社会の在り方の違いに注目しながら説明せよ。 | 5-2院政と平氏政権<br>6-1鎌倉幕府の成立<br>6-2武士の社会  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・考えを深める問い<br>・小テスト | ・小課題<br>・小テスト |
| 10                           |   | 定期試験③ 令和7年 10月20日～10月22日  |  |   |  |               |
| 第6章 武家政権の成立<br>第7章 武家社会の成長   | ●外敵の襲来と幕府の対応、武士文化の形成、そして室町幕府の成立と動揺の学習を通して、その内容と特徴を理解し、武士政権の変化とそれに伴う庶民層の台頭の背景を説明できるようにすることを目的とする。<br>問いの例：「鎌倉幕府の成立 → 外圧と混乱 → 室町幕府の成立と衰退」この変化は、「武士の秩序の構築」と「新たな階級の台頭」によって特徴づけられるが、なぜ武士による支配が動揺し、庶民や地域の力が歴史の表舞台に現れるようになったのか、政権の特徴や社会の変化に注目して説明せよ。                                     | 6-3モンゴル襲来と幕府の衰退<br>6-4鎌倉文化<br>7-1室町幕府の成立<br>7-2幕府の衰退と庶民の台頭  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・考えを深める問い<br>・小テスト   | ・小課題<br>・小テスト   |  |               |
|                              | 第7章 武家社会の成長<br>第8章 近世の幕明け   | ●室町文化の展開、戦国大名の登場、そして織豊政権による統一の流れを通して、社会の多様化と秩序形成の変化を比較し、それぞれの特徴と内容を説明できるようにすることを目的とする。<br>問いの例：「多様な文化の広がり → 戦国大名による地域支配 → 織豊政権による統一」この変化は、「地方の勢力支配」と「新しい政治秩序の形成」によって特徴づけられるが、なぜ地域ごとの支配者が力を持つようになり、そしてなぜ武力と政策をもって統一を成し遂げた政権が必要とされたのか、それぞれの特徴と背景を比較しながら説明せよ。  | 7-3室町文化<br>7-4戦国大名の登場<br>8-1織豊政権   | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・考えを深める問い<br>・小テスト  | ・小課題<br>・小テスト                                    |               |
| 12                           |   | 定期試験④ 令和7年 12月10日～12月12日  |  |   |  |               |
| 第8章 近世の幕明け<br>第9章 幕藩体制の成立と展開 | ●桃山文化の成立と幕藩体制の確立、身分制による社会の構造化という流れを通じて、権力の表現としての文化と、制度による秩序形成のあり方を理解し、それぞれの特徴と内容を説明できるようにすることを目的とする。<br>問いの例：「戦国的な力の支配 → 豪華な文化の開花 → 幕府中心の封建的秩序の確立」この変化は、「権力の可視化」と「支配の制度化」によって特徴づけられるが、なぜ桃山文化のような豪壮な文化が生まれ、そして徳川幕府が幕藩体制という安定的な支配構造を築いたのか、文化と制度、両面からその特徴と背景を説明せよ。                   | 8-2桃山文化<br>9-1幕藩体制の成立<br>9-2幕藩社会の構造   | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・考えを深める問い<br>・小テスト   | ・小課題<br>・小テスト   |  |               |
|                              | 第9章 幕藩体制の成立と展開  | ●幕府による支配の安定、経済の発展、元禄文化の広がりを通して、政治・経済・文化の関係を、それぞれの特徴が社会に与えた影響を理解し、説明できるようにすることを目的とする。<br>問いの例：「幕府による秩序の確立 → 経済の拡大 → 町人による文化の成熟」この変化は、「制度による支配」と「経済的活力・文化的表現の広がり」によって特徴づけられるが、なぜ安定的な幕府のもとで経済が発展し、町人文化が大きく花開いたのか、秩序と活力の関係を注目で、その特徴と意味を説明せよ。  | 9-3幕府の安定<br>9-4経済の発展<br>9-5元禄文化  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・考えを深める問い<br>・小テスト  | ・小課題<br>・小テスト                                    |               |
| 第10章 幕藩体制の動揺                 | ●江戸後期の改革と文化、そして幕府の衰退から近代化の始まりまでの流れを通して、支配体制の執行細部と社会の変化、それとともに文化の特徴を理解し、それぞれの意味を説明できるようにすることを目的とする。<br>問いの例：「改革による幕府の再興 → 社会の変化と庶民文化の広がり → 幕府の限界と近代への転換」この一連の動揺は「幕府の維持と変化への対応」という課題に直面する時代であり、なぜ幕府は改革を行ったのか、なぜ庶民文化がさらに発展したのか、そしてなぜ最終的に幕府の体制は崩れていったのか、政治・社会・文化のつながりに注目して、その特徴を説明せよ。 | 10-1幕府の改革<br>10-2宝暦・天明期の文化<br>10-3幕府の衰退と近代への道<br>10-4化政文化   | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・考えを深める問い<br>・小テスト   | ・小課題<br>・小テスト   |  |               |
|                              | 3   |   | 定期試験⑤ 令和8年 3月4日～3月6日   |   |  |               |